

＜今回の見直しに係る事業費比較＞

- ・ 当初計画からの削減額は約1.2億円
- ・ 物価高騰分を含めると約3億円の削減
- ・ 維持管理費は緑地面積を削ったことで年間約600万円の減

区 分	事 業 費			比 較		
	令和5年11月 当初計画（A）	令和6年9月 物価等置換（B）	令和6年10月 見直し（C）	物価等高騰に 伴う増加額 （B－A）	見直しに 伴う削減額 （B－C）	当初計画からの 削減額 （A－C）
公園基本計画 策定費・設計費等	2,343万円	2,614万円	2,614万円	271万円	0万円	△271万円
公園整備工事	4億7,042万円	6億 312万円	4億4,749万円	1億3,270万円	1億5,563万円	2,293万円
その他 (測量・アンケート等)	4,700万円	4,878万円	4,878万円	178万円	0万円	△178万円
屋内遊戯施設 (町民交流施設)	1億9,603万円	2億1,547万円	2億1,547万円	1,944万円	0万円	△1,944万円
防災倉庫	1億2,180万円	1億4,197万円	0万円	2,017万円	1億4,197万円	1億2,180万円
合計	8億5,868万円	10億3,548万円	7億3,788万円	1億7,680万円	2億9,760万円	1億2,080万円
維持管理費	2,500万円	—	1,900万円			

＜町民の皆さまへ＞

公園整備事業の見直し内容について、町民の皆さまにお知らせいたします。

町民アンケートや説明会などで、皆様からの様々な声を聞かせていただいた中で、熟慮を重ねた結果、今回の見直し内容を決定しました。

現在、広尾町の最大の課題は「人口減少」です。その主な要因は、「出生数の減少」、「生産年齢人口の流出」にあります。このまま、子どもや若い世代が減少し続ければ、高齢者を支えることが困難な状況になります。そうならないためにも、町の産業である漁業や農業、林業などの振興と商工業や港湾振興、福祉、医療、教育など様々な施策をバランスよく進めていく必要があります。はじめに給食費の完全無償化や保育料の無償化など新たな子育て支援策を実行させていただきました。若い世代がこれからも住み続けたい、広尾へ戻ってきたい、元気な広尾町を次世代へつなげていきたい、そんな思いでまちづくりを進めていきたいと考えております。

今回の公園整備について、賛成、反対、様々な意見があることは承知しています。「人口減少」は町の存続にもかかわる大きな問題であります。まちの活気が失われ、さらに人口減少が進む負の連鎖を止めるためにも、私はこの公園を整備する必要があると思っています。広尾町の「まちの魅力」を高め、「まちの賑わいの創出と活性化」につなげていくためにも、この公園をいかに「人が集まり、楽しめる公園」にしていくかが重要です。

町民の皆さんのご理解を賜りますようお願いいたします。

広尾町長 田中 靖章